PICKIN' SINGIN' GINZA Rocky Top かわら版 第124号

2011 11.12 発刊

Yeah!マネージャーNo.83 バンジョー禁止令の巻

作. チーフ井上

拝啓 December

11月、年末前の何とも中途半端な気分の月だ。「有終の美を飾る」というなら12月、慌ただしさの中、今年を振り返りつつ、しめていく。そんな気分になれるが、11月でも最もクールに日々を過ごせる月なのかもしれない。秋から冬への肌寒さを感じながら今やれる事を一つ一つこなして来たる年末に備えるとするか……。

新年会etcパーティ相談に応じます!

マスター田口の不幸デラックスコーナー

ろっ骨を3度折るの巻…マスターはろっ骨の同じ場所を3度折るという不幸な偉業を成しとげている。まず1回目は雨の日、茨城牛久沼にバス釣りに行って斜面ですべり骨折!

2回目はこれまたバス釣りで堤防を乗り越えようとした時…

自らの体重を支えきれず骨折!

そして3回目は…

あの最中に胸に体重をかけて乗っかられ骨折!お相手は「ヒ・ミ・ツ」とのことだが一応許可を得て書いております。本当は「子供と遊んでる時、胸に体重をかけられ…」にしてほしい、と言われたのですが、真実を追い求めるジャーナリスト井上として事実のまま掲載させていただきました…

さようなら…本物のボーカリスト 高橋義郎さん…

去る8月22日、ニューロードマップやウィーピングブラスのVo高橋義郎さんが闘病生活の末亡くなりました。非常に残念でなりません…日本のレスターフラット、と言われてたあの独特な節回し、ソフトで、しかしドライブ感あふれた歌声は心地良く、ハートにしみわたった。ブルーグラス界で数少ない本物のボーカリストと言える存在でした。(サムピックでのギターワークも超かっこ良かった!)そして義郎さんに一貫して流れるダンディズムのオーラがとっても素敵でした。最後の最後まで家族の協力があってのことですが歌い続け、ボーカリストの生き様を見せてくれました。最後のステージでのラストソングは「最近書いたラブレター」だったそうです。そして帰り際「長いことお世話になりました」とマスターに頭を下げられたそうです。なんて最後までダンディーで粋な人だったんだ!合掌!

ロッキートップ恒例クリスマスフォーク!

お楽しみプレゼント抽選会、じゃんけんコイン総取り大会もあります。お誘い合わせの上、こぞっていらして下さい!

12/16(金) ハイド&シーク(ブルーグラス)
ドブロ小島さんを中心に美声のVoグレイスりいこ、G. Bassに手塚夫婦、マンドリンに竹中営次とスーパーピッカーが君を連れ去る! BC¥1800

12/17(土) APEX(モダンフォーク)
P.P.Mを中心に当時のモダンフォークを色々聴かせてくれます BC¥1700

12/18(日) P.P.Mフォークナイト
出 **パート・パー・ミリオン、P.P.Mシンガース**
P.P.Mだけの夜です!楽しみましょう! BC¥2000

12/19(月) モーニングブレイク(ブルーグラス) **ホーリータンゴ**(アメリカンフォーク)
アリソンクラウスばりのボーカルを聴かせる塚田なおみとテクニカルなピッカーがドライブ感あるブルーグラスをプレイするモーニングブレイクと、ギター、マンドリン2人組でアメリカンフォークも奏でるホーリータンゴの共演 BC¥2000

12/20(火) オールドマウンテンストリングバンド & ダッキーズ(ブルーグラス)
マンドリンウルさんの下ネタMCを中心にブルーグラスを耳馳かせるオールドMもストリングスと、日本最速エモーショナルマンドリンプレイヤー本間さん率いるダッキーズの共演 熱く、暖かく、楽しい夜になりますよ! BC¥2000

12/21(水) ジェリーフィッシュ(ブルーグラス&etc)
キュートでエネルギッシュな女性Voナルタンを中心に濃いキャラのメンバーが大人のブルーグラスを聴かせます BC¥1800

12/22(木) ストレイキャッツだけの夜 出 シュイキン・シガレッツ
ルックスから何から、とにかくストレイキャッツ!ロカビリーな気分で騒ごう!踊ろう! BC¥1900

12/23(金) アッシュグローブ(ブルーグラス)
ロッキートップ最大の人気を誇るバンド、一度見ればあなたもトリコになります。うまい!楽しい! BC¥2200

12/24(土) タヒチクラブ & ザディコキックス
スライング・グラスのタヒチクラブとルイジアナの古いクリオールミュージック「ザディコ」の日本を代表するバンド「ザディコキックス」の共演。ザディコキックスのアルバム「TRIL RIDE」はなんとグラミー賞にノミネートされた! BC¥2000

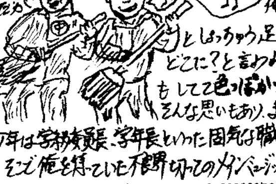
12/25(日) 尾崎ブラザーズ & 介護班(ブルーグラス)
日本で唯一、アメリカIBMAブルーグラス殿堂入りを果たしている尾崎ブラザーズをザ・ニューアップルレシードが介護する毎年恒例クリスマスウィークラストイベント。あと何回見れるか分からないよ!(すいません) BC¥1900

全日程 御予約受付中!良い席はお早めに!

チーフ井上の音楽よもやま話⑦

…人生で出会った音楽それはまさに縁である。その縁の糸をたどり、いかにして今の人生につながっているか?というよもやま話を書き綴りたいと思います。

高中正義ショックそしてE.YAZAWA…1979年4月〜1982年3月が僕の中学校3年間だが、時代は今思えばニューウェーブ、パンクロック、テクノ、そしてフュージョン(クロスオーバー)というムードでしょうか。もともとYMOにもかなりの衝撃を受けていた井上少年は歌のない音楽、いわゆるインストものにも免疫がついていた。そんなおり、確かカセットテープMaxellのCMで青いYAMAHA-SGを弾きまくるヒゲの兄ちゃんのギターにしびれた。その人こそ高中正義、曲はReady To Fry、その後Blue Lagoonという曲もしょっちゅうメディアで流れるようになり当時のギターキッズはこぞって高中のコピーを始めた。俺の友達で河野君という不良がいて、彼はいわゆる族の集会に参加したり、盗んだバイクで走り出したり(そんな歌も後に出てくるが…)当時の典型的ヤンキーだった。子供の頃から顔見知りだったこともあり、何となく俺とは打ち解けて、よく家に招待された。俺といる時は暴走族の話題など一切なく、音楽の話ばかり。吉田拓郎はさっぱり分かってもらえなかったが高中正義では盛り上がり、また彼は中一からエレキギターを弾いていたので、目の前でよく高中の曲に合わせて演奏してくれた。TAB譜というのが出だした頃でBlue Lagoonを完コピで演奏する姿にほれぼれした。彼のおかげで色んな音楽用語やギターのこと諸々を覚えた。Blue Lagoonの音色はコーラスというエフェクターが決め手なんだ!とか、SGはYAMAHA以外もある、いわゆる型のモデルで高中の原点にカルロス・サンタナがいること。その後河野君はハードロック・ヘビーメタルに流れていくので、その辺の音楽も彼の影響でずいぶん知ることとなった。ディープパープル、レインボー、ツェッペリンetc. あ〜ますますギターが欲しくなる俺だった。アコギだけじゃなくエレキも!「喉から手が出るほど」というのはこういう状態だった。掃除の時間は河野君と一緒にほうきを持って高中正義、だが一つ違うのは、彼は本当に弾ける、という点だ…そんな空しさも感じつつも…楽しい思い出である。



河野君は不良といる時と俺といる時、モードを変えてつき合っていたのだが、俺としてはやはり音楽が好きな河野がいいわけで、「不良なんてバカらしくない?」としょっちゅう足を洗うことをすすめたものだった。だが、俺も実は不良界にも興味があった。どこに?と言われると正直言って不良少女にだ。何しろ不良少女っていい女が多かった。化粧もしてて色っぽかった。ちょっと怖いけどなんて言われると童貞井上少年の心はときめいた。そんな思いもあり、まずはどんな世界か知ろう!と決めた井上少年は学級委員長、学年長といった固気な職務につきながらも不良とのつき合いが始まる。そこで俺を待っていた不良界切ってのメインミュージック、それが矢沢永吉だ…